

おサイフのしくみ

そもそも予算って何?

予算とは札幌市の1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の計画のこと。
予算を見れば、この1年間、どれくらいの収入が見込めて、
何にいくら使うかがわかるんだ。



一般会計予算の9,366億円は
小学校468校分の建設費に相当する額です。
(小学校建設費 約20億円)
※平成28年1月時点の小学校数:204校

おサイフ(会計)の種類は3種類あり、札幌市には合計15のおサイフ(会計)があります。

一般会計	平成28年度予算 9,366億円(平成27年度予算 9,010億円)
福祉や教育、道路整備など、行政の基本的な事業の会計	
特別会計	平成28年度予算 3,895億円(平成27年度予算 3,917億円)※公債会計を除く
国民健康保険や介護保険のように保険料を徴収している事業など、一般会計と区別する必要がある事業の会計	
・土地区画整理会計	・駐車場会計
・後期高齢者医療会計	・母子父子寡婦福祉資金貸付会計
・介護保険会計	・国民健康保険会計
・基金会計	・公債会計
企業会計	平成28年度予算 2,750億円(平成27年度予算 2,807億円)
地下鉄や水道など、民間企業のように利用料金などの収益で運営している事業の会計	
病院事業会計: 市立札幌病院	中央卸売市場事業会計: 札幌市中央卸売市場
高速電車事業会計: 地下鉄	軌道事業会計: 路面電車
水道事業会計	下水道事業会計

札幌市の平成28年度の予算をみてみよう(一般会計)

札幌市の収入と支出①

収入

市税
2,846億円(30.4%)



札幌市の収入のうち、私たちが納める市税は約3分の1なのね。

使用料・手数料など

591億円(6.3%)

臨時財政対策債

505億円(5.4%)

臨時財政対策債以外の市債

678億円(7.2%)

貸付金返済金

828億円(8.8%)

28年度 9,366億円

【市税】市民税、固定資産税、都市計画税など

【地方交付税】税収の多い自治体と少ない自治体の間の財源を調整するなどの目的で、いったん国が集めた税を自治体に再配分しているもの

【国庫支出金】国が必要と認めた事業に対して、国から市に配分するお金

【臨時財政対策債】本来、国が現金で交付すべき地方交付税の一部

について、市が代わりに一時的に行う借金(詳しく述べる)

※1 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割

交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場用税交付金、自動車取得税

交付金、軽油引取税交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金の合計

※2 分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入(貸付金返済金除く)の合計

※3 国庫支出金、道支出金の合計

支出

市税
2,846億円(30.4%)

扶助費の割合が大きいのね。

人件費
960億円(10.2%)

扶助費
2,881億円(30.8%)

公債費
850億円(9.1%)

物件費・補助費
1,520億円(16.2%)

他の会計への繰出金
712億円(7.6%)

積立金など
48億円(0.5%)

貸付金
826億円(8.8%)

28年度 9,366億円

【扶助費】社会保障制度の一環として、生活困窮者、高齢者、児童、障がいのある方などに対する行っている様々な支援に要する経費(例:生活保護費、児童手当)

【公債費】借金の返済(元金:702億円、利子:148億円)

【物件費】物品購入費、賃借料など



具体的にどんなことに使われているのか?